

特別セミナー

非認知能力を伸ばす乳児保育 「見守る保育（藤森メソッド）」の環境づくり

JAKUETS × 藤森メソッド

AI（人工知能）が進化していく時代では
現在ある仕事の約半数がなくなると言われています。
成績や学力といった「見える学力」だけでなく、
何かが起こったときに自分の頭で考えて行動できる
「見えない学力」＝「非認知能力」を伸ばすことが求められています。

非認知能力を伸ばす乳幼児教育である
「見守る保育（藤森メソッド）」の考えを基に、
子どもの主体性を育む環境づくりを講演していただきます。

2023年 12月 20日（水）

AM 11:00 ～ 12:00

受講料	3,300 円（税込）
セミナー会場	産業展示館 2 号館 館内
定員	30 名



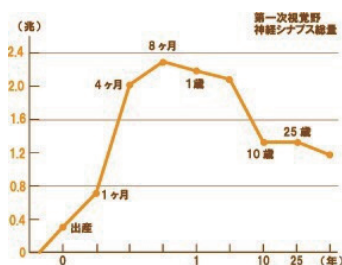
乳幼児教育家

藤森平司 / Fujimori Heiji

認定こども園 新宿せいが子ども園 園長
保育環境研究所ギビングツリー 代表
乳幼児 STEM 保育研究会 理事長

大学で建築学を学び、その後小学校教諭、保育園園長、子ども園園長の実践を経て、これからの時代に必要とされる質の高い保育・教育を目指し、「見守る保育 藤森メソッド」を提唱する。欧米、アジア各国の保育施設を歴訪し、さらにメソッドを深める。また、中国、韓国、シンガポール、ドイツなどで講演。ドイツ・バイエルン州ミュンヘン教育局に 15 年にわたって訪問し、乳幼児教育についての情報交換を行う。現在、国内で 500 園あまり、海外で 170 園が「藤森メソッド」を取り入れている。

なぜ乳幼児からの「見守る保育」が必要なのか？



久保田鏡「脳はどこからどこへ」（小泉英明編著「育つ・学ぶ・癒す 脳図鑑 21」工作舎より）

脳の発達において、赤ちゃんは白紙の状態で生まれるのだと信じられてきましたが、脳内で情報伝達を司るシナプスの数は赤ちゃんの段階（8 か月～1 歳頃）がピークであり、その後は減少していきます。

そこで、シナプスが形成される乳幼児期に「非認知能力を育む」ことができる「見守る保育」が必要なのです。

JAKUETS

子どもたちの未来を支える 新たな道を切り拓くセミナー

今回のあそんじゃうデザイン展では、ジャクエツ社員によるセミナーを開催いたします。それぞれのテーマにおいて、皆様の課題解決や事業発展に貢献できれば幸いです。



会場：産業展示会 2 号館 館内
費用：無料

01 療育事業を通じた社会貢献 ～地域になくてはならない施設づくり

株式会社ジャクエツ マネジメントサポート専門営業 山添 大輔

2023 年 12 月 19 日 (火) AM 11:00 ～ 11:30

超少子化の状況において、療育を必要としている 8 割の子どもが施設を利用できていない現状があり、子どもだけでなく、保護者への支援も含む社会に貢献していく事業として注目を集めております。園と発達支援のスタッフが共に成長する、「インクルーシブ保育」の実現にむけて、児童発達支援事業所の概要、開設条件と必要な資格、職員配置などについての情報を提供いたします。

02 あそびの空間が生み出す地域の活性化 ～ウェルビーイング

株式会社ジャクエツ パブリックスペース営業営業 高橋 俊博

2023 年 12 月 21 日 (木) AM 11:00 ～ 11:30

「あそび」から、人と人とのつながりが自然と生まれ、「社会的関係性」「自己決定感」「寛容性」「信頼関係」が育まれます。それらを発揮するためには自分らしくいられる「居場所」と一人ひとりが活躍できる「舞台」が必要かと思います。思わず夢中になって「あそんじゃう」ような環境を整えることが心の豊かさを向上させ、社会情勢や地域の課題に対応した多数の事例や取り組み等の情報をご紹介します。

※当セミナーは会員制です。お申込みについては各担当社員にお申し付けください。